



国際防災・人道支援協議会 (Disaster Reduction Alliance)



国際防災・人道支援協議会会長

河田 恵昭 (かわた よしあき)

人と防災未来センター長、
京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授

会長ごあいさつ

世界では、大規模な自然災害や人為的な災害が多発しています。また、災害はますます多様化・複雑化する様相を呈しています。このような災害に効果的に対処するためには、様々な知見・資源を結集し、有効に活用していくことが重要です。

このような観点から、神戸東部新都心を中心に立地している防災に関わる多分野・多機能にわたる関係機関が有機的な連携を図り、それぞれの機関がその機能をより効果的に発揮することにより、国際的な防災・人道支援活動に貢献することを目的として、2002年10月に「国際防災・人道支援協議会」を設立いたしました。

協議会メンバーが行う人材育成、調査研究、災害対応、各種イベント等を相互に支援し、あるいは協議会として共同実施することにより、世界に貢献する防災戦略拠点としての役割を果たしていきたいと考えています。

最近の活動

●国際防災・人道支援シンポジウムの開催



国際防災・人道支援協議会では、平成15年1月16日(木)に、国際防災・人道支援シンポジウム「地球との共存—しなやかな防災社会の構築に向けて」を開催しました。

●DRAワークショップ(勉強会)の開催

平成15年7月、9月、10月に開催しました。当日は、研究者により活発な議論が交わされました。

●国際防災・人道支援フォーラムの開催

平成16年2月8日(日) 13:30~17:50

●ホームページ

<http://www.dra.ne.jp>

●事務局

国際防災・人道支援協議会事務局(人と防災未来センター事業課内)

TEL: 078-262-5068 FAX: 078-262-5082 Email: pro@dri.ne.jp





国際防災・人道支援協議会 (Disaster Reduction Alliance)

…国際的防災拠点の形成を目指して



「国際防災・人道支援協議会」参加機関

APN アジア太平洋地球変動研究ネットワーク

アジア太平洋地域における地球変動研究を促進し、地球変動研究への途上国からの参加を増進し、学界と政策決定者との相互作用を強化することを目的とする政府間ネットワークとして、1998年に設立されました。APNでは、共同研究やトレーニング活動の支援、新たな研究プロジェクト形成のためのワークショップの開催、研究者や政策決定者への地球変動に関する情報の普及等の活動を行っています。
URL <http://www.apn.gr.jp/>

国際エメックスセンター

臨に置かれた閉鎖性の高い海を閉鎖性海域と呼び、海水の外洋との交換が悪いことから汚染に弱く、環境保全には特別の配慮が必要とされてきました。こうした認識のなか、1990年に第1回世界閉鎖性海域環境保全会議(EMECs会議)が開催され、1994年には閉鎖性海域の環境の保全と適正な利用を目指す研究や情報交換のための国際的組織として「国際エメックスセンター」が設立されました。
URL <http://www.emecs.or.jp/>

国際連合人道問題調整事務所神戸

国連人道問題調整事務所(OCHA)は、効果的な人道援助のために政府機関や国際機関と協力しながら援助活動の調整を行っています。OCHA神戸には災害対応と情報サービスの二つの機能がおり、それぞれをアジアユニットとReliefWebが担当しています。
URL <http://www.reliefweb.int/>

EDMI 地震防災フロンティア研究センター

「都市部を中心とする地震災害の軽減を目指す先導的な研究」を目的として1998年1月に開設されました。防災科学技術研究所(本所:つくば市)に属し、地震防災の社会的課題・情報課題・物理的課題・政策課題に関する多分野の総合研究を進めています。また、EDMI川崎ラボラトリー(川崎市)で震災総合シミュレーションシステムを開発しています。
URL <http://www.edmi.bosai.go.jp/>

オブザーバー機関

内閣府、外務省、兵庫県、兵庫県国際交流協会、兵庫県立看護大学

IGES 地球環境戦略研究機関関西研究センター

兵庫県および関西の企業、団体等の協力を得て、2001年に開設されました。「産業と環境」をテーマとして、関西の学術研究機関や企業、団体ならびにアジア太平洋地域をはじめとする内外の研究機関と連携した、調査研究、政策提言や普及活動を行なっています。
URL <http://www.iges.or.jp/>

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に継承するとともに、その経験と教訓を生かし、防災に関する知識及び技術の普及を図ることにより、地震等の災害による被害の軽減に貢献するため2002年に開設されました。
URL <http://www.dri.ne.jp/>

アジア防災センター

アジア防災センターは、災害が多発するアジア地域における多国間防災能力を推進する機関として、1998年に設立されました。「災害情報の収集・共有」「防災力向上のための人材育成」「メンバー国等との防災協力プロジェクト」などの事業を進めています。
URL <http://www.adrc.or.jp/>

JICA 国際協力機構兵庫国際センター

国際協力機構(JICA)は、政府開発援助(ODA)の実施機関として、開発途上諸国への専門家の派遣、研修員の受け入れなどを通じて、人から人へ技術を伝え、さらに機材供与を合わせてプロジェクトとして効果的な協力を実現しています。また、青年海外協力隊などのボランティアを派遣している他、大規模災害の被災者に対してすばやく救いの手をさしのべる災害緊急援助などを行っています。
URL <http://www.jica.go.jp/>

国際連合地域開発センター防災計画兵庫事務所

国際連合地域開発センター(UNCRD)は、トレーニングや研究、助言、情報普及活動をおこなって、開発途上国の地域開発担当者の計画立案、実施能力を向上させることを目的とし、1971年に設立されました。1995年の阪神・淡路大震災の教訓を世界へ広め、防災活動を推進するため、1999年にUNCRD防災計画兵庫事務所が設置されました。
URL <http://www.hyogo.uncrd.or.jp/>

世界保健機関健康開発総合研究センター

21世紀の世界の健康と保健福祉問題に対応するための学際的国際機関として、1996年に設置されました。「都市と健康」「高齢化と健康」「保健福祉システム開発」をテーマにした情報の収集、分析、発信を行い、パートナーシップを基本としたグローバルネットワークの構築と研究活動を展開しています。
URL <http://www.who.or.jp/>

日本赤十字社兵庫支部

日本赤十字社(JRCS)は、世界各国の赤十字社とともに、戦争や災害、病気などで苦しんでいる人々に救済の手をさしのべています。国内でも、災害救済活動、医療事業や血液事業、福祉や看護師養成、青少年赤十字、ボランティア育成など、その活動は広範囲です。「赤十字」は、戦火の中で、災害の地で、「人間が人間らしく生きる」ために、「平和で健康な暮らしを維持する」ために努力し、いつの時代も、世界に人々の苦痛がある限り、人道の名のもとに行動し、人類の平和と人々の心に、希望の灯を点す存在でありつづけます。
URL <http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

兵庫県災害医療センター

兵庫県災害医療センターは、震災の教訓を踏まえた兵庫県災害救急医療システムの中核施設であり、自治体が設立する初めての災害医療センターです。当センターは、救命救急センターと情報指令センター等の機能を有しており、診療の早期開始を目的としたドクターカーの活用や災害時における救急医療情報収集・提供を行います。また、基幹災害拠点病院として、医療従事者の教育研修など人材の養成、情報収集・発信等を行います。